

2016年度 決算概要

2017年5月10日
デンカ株式会社

1.業績の概要

【2016年度 総括】

・当期は、今年度より年間をととして連結となった米国子会社の数量増に、電子・先端プロダクツ製品、検査試薬などの出荷増やインフルエンザワクチンの順調な出荷が数量面で寄与したことに加え、電力コストの負担も減少しましたが、円高や石化製品のスプレッド縮小、スチレンモノマー定期修繕実施、そして研究開発などの先行投資による負担が増加し、営業利益は前年に比べて48億円減益の258億円(前年比15.6%減)となり、また、経常利益は232億円(前年比14.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は181億円(前年比6.8%減)と、いずれも前年を下回りました。

【2016年度 セグメント別状況】

・エラストマー・機能樹脂部門は、スチレンモノマーの定修に加え、円高による輸出クロロプレンの手取り減、スチレン系製品のスプレッド縮小などにより、前年に比べ減益となりました。

・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、農業・土木用コルゲート管の出荷数量は増加し、またコストダウン効果が実現した一方で、特殊混和材、セメントや肥料の出荷が前年を下回り、減益となりました。

・電子・先端プロダクツ部門は、電子部品・半導体搬送材料用部材の機能フィルムやLED用蛍光体の順調な出荷と球状溶融シリカファイバーの数量増が、パワーモジュール用高信頼性放熱プレートの低調な出荷を補い、前年に比べ増益となりました。

・生活・環境プロダクツ部門は、DXフィルムが順調な出荷となりましたが、合繊かつら用原糸の円高影響およびアフリカ経済の低迷による需要減、食品包装材料の原料価格に応じた値下げなどから、前年に比べ減益となりました。

・ライフイノベーション部門では、インフルエンザワクチン、検査試薬は順調な出荷となりましたが、新製造棟の償却費や研究費負担が増加し、減益となりました。

(注) 当社は、2017年4月1日付で、デンカグループのすべての健康関連事業を統括する「ライフイノベーション部門」を新設いたしました。2016年度はセグメントに変更ありませんが、「2016年度 決算概要」では、2017年度業績予想との対比のため、便宜上「生活・環境プロダクツ」と「ライフイノベーション」を分割して記載しております。

【2017年度 予想】

・石化製品のスプレッド縮小、労務費他の固定費や研究開発費負担増はあるものの、電子先端製品をはじめ全セグメントでの数量増に加えて、スチレンモノマーの定修負担減などにより、営業利益は過去最高と同水準の300億円、そして経常利益は280億円、親会社株主に帰属する当期純利益は210億円とし、過去最高を目指します。

【業績】

	2016年度 通期実績 (4-3月)	2015年度 通期実績 (4-3月)	増 減
売上高	3,626	3,699	△ 72
営業利益	258	306	△ 48
経常利益	232	270	△ 39
親会社株主に帰属する当期純利益	181	195	△ 13

(単位:億円)

2017年度 第2四半期予想 (4-9月)	2017年度 通期予想 (4-3月)
1,900	4,000
125	300
125	280
95	210

2.セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	2016年度 通期実績	2015年度 通期実績	増 減	
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,517	1,556	△ 39
	営業利益	78	110	△ 33
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	518	534	△ 15
	営業利益	9	12	△ 3
電子・先端 プロダクツ	売上高	463	457	6
	営業利益	71	61	10
生活・環境 プロダクツ	売上高	412	438	△ 26
	営業利益	15	23	△ 7
ライフ イノベーション	売上高	340	314	27
	営業利益	79	89	△ 10
その他 消去差	売上高	377	401	△ 24
	営業利益	7	12	△ 5
合 計	売上高	3,626	3,699	△ 72
	営業利益	258	306	△ 48

2017年度 第2四半期予想	2017年度 通期予想
870	1,720
55	105
260	540
5	10
240	530
40	90
220	450
10	20
130	360
10	70
180	400
5	5
1,900	4,000
125	300

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2016年度 通期実績	2015年度 通期実績	増 減	2017年度 第2四半期予想	2017年度 通期予想
投 資	設備投資	257	212	45	170	300
	M & A 他	12	167	△ 156	40	40
	計	269	380	△ 111	210	340
減価償却費		244	232	11	120	250
研究開発費		130	118	12	75	150
有利子負債残高		1,137	1,246	△ 108	1,220	1,120

	2016年度 通期実績	2015年度 通期実績	2017年度 第2四半期予想	2017年度 通期予想
為替レート [円/\$]	108.8	120.1	110.0	110.0
国産ナフサ [円/kl]	34,600	42,850	43,000	43,000

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2016年度 通期実績	2015年度 通期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	1,517	1,556	△ 39	△ 174	135
インフラ・ソーシャルソリューション	518	534	△ 15	△ 7	△ 8
電子・先端プロダクツ	463	457	6	△ 40	46
生活・環境プロダクツ	412	438	△ 26	△ 33	7
ライフイノベーション	340	314	27	△ 9	36
そ の 他	377	401	△ 24	-	△ 24
合 計	3,626	3,699	△ 72	△ 264	192

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2016年度 通期実績	2015年度 通期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	78	110	△ 33	△ 174	69	73
インフラ・ソーシャルソリューション	9	12	△ 3	△ 7	△ 6	9
電子・先端プロダクツ	71	61	10	△ 40	36	15
生活・環境プロダクツ	15	23	△ 7	△ 33	△ 5	31
ライフイノベーション	79	89	△ 10	△ 9	27	△ 27
その他、消去差	7	12	△ 5	-	△ 5	△ 0
合 計	258	306	△ 48	△ 264	116	100